

事務事業名		介護予防一般高齢者施策事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	0:4: 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	1:3: 高齢者福祉の推進							
	基本事業名	0:2: 自立支援と介護サービスの充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成18 年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度 ~ 年度  全体計画欄の総投入量を記入		18	04	01	02
根拠法令		介護保険法							
所属	部課名	生活福祉部 保健福祉課							
	係名	地域包括支援センター	電話	44-1030・26-2943	内線	27-3111(437・439)			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)			
地域において介護予防のための自発的な活動が広く実施され、高齢者自らが活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的にできるよう、健康教育や健康相談等により介護予防の知識の普及・啓発を行う。また、その支援のため活動するボランティアや地域組織の育成・支援を行う。主な事業は 介護予防教室の開催 講演会や相談会等の開催 介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援 施策の評価がある。事業費は人件費や介護予防教室の委託料や講師料、パンフレットや教材などに支出される。						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
								都道府県支出金	
								地方債	
								その他	
								一般財源	
								事業費計 (A)	0
人件費	正規職員従事人数								
	延べ業務時間								
	人件費計 (B)	0							
						トータルコスト(A) + (B)		0	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
各種介護予防教室、湯こで健康づくり事業、生活支援型ホームヘルパー派遣事業、高齢者ふれあい活動事業、介護予防講演会を実施した。		ア	各種介護予防教室等開催数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	各種介護予防教室等参加者数
前年度事業と同様であるが、転倒予防教室の開催回数を増やす。		ウ	生活支援型ホームヘルパー利用者数
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
65歳以上の高齢者及びその支援のために活動する者		名称	
		単位	
		カ	65歳以上の高齢者
		キ	支援団体の数
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
高齢者が介護予防の大切さを理解し、自ら介護予防のための活動、事業に積極的に参加できるようになる。また、介護予防の必要性を理解し、支援のために活動できる人が増える。		名称	
		単位	
		サ	各種介護予防教室等参加者数
		シ	要支援、要介護認定率
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
高齢者が地域でいきいきと自立した日常生活が送れるようになる。また、高齢者の自主的な介護予防活動を支援する地域組織ができ、自主的に活動できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度						
			17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	
事業費	国庫支出金	千円		1,382	2,449	2,190	2,440	2,306	
	都道府県支出金	千円		691	1,224	1,095	1,220	1,153	
	地方債	千円							
	その他	千円		3,455	6,124	5,476	6,103	5,768	
	一般財源	千円							
	事業費計(A)	千円	0	5,528	9,797	8,761	9,763	9,227	
	人件費	正規職員従事人数	人		4	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間		1,170	1,200	1,200	1,200	1,200	
	人件費計(B)	千円	0	4,680	4,800	4,800	4,800	4,800	
	トータルコスト(A) + (B)	千円	0	10,208	14,597	13,561	14,563	14,027	
活動指標	ア	回	-	84	156	142	164	145	
	イ	人	-	2,023	3282	2985	3669	3018	
	ウ	人	-	25	23	22	21	26	
対象指標	カ	人	-	12,061	12,246	12,427	12,681	12,351	
	キ	団体	-	7	9	13	11	11	
	ク		-						
成果指標	サ	人	-	2,023	3282	2985	3669	3018	
	シ	%	-	16.1	15.8	15.3	15.7	14.8	
	ス								

事務事業ID	1190	事務事業名	介護予防一般高齢者施策事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成18年4月1日の介護保険法改正により、地域支援事業実施要綱が定められ平成18年4月1日から開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 介護保険法、地域支援事業実施要綱に基づき、介護保険料が財源の一部となったため、第三期介護保険事業計画に組み入れられた。老人保健法が改正となり、平成20年度から生活機能評価が地域支援事業交付金の対象となった。平成21年度からは、第四期介護保険事業計画に基づき実施している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 「自宅に近い会場で開催してほしい。」「送迎があればよいと思う。」「一回だけでなく、何回か続けて開催してほしい。」「来年度も参加したい。」「教室で指導された運動を自宅でも継続している。」等の市民からの声がある。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 当事業を実施、充実させることにより、在宅で自立した日常生活を送ることができる元気な高齢者が増える。このことにより、介護の負担が減り、介護予防給付費の減少にもつながる。さらには介護保険制度の維持や介護保険料に反映し、安心して暮らせるまちになる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 市は介護保険の保険者であり、介護保険の財源が効果的に支出され、健全な制度が維持ができるよう介護予防に重点をおき事業を実施する責務がある。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 介護予防に主体的に取り組むべき高齢者及びそれを支援する者を対象としており妥当である。対象者、意図ともに法令により定められており、限定追加する必要はない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 平成22年度は、延3,018人が各種介護予防教室等に参加した。継続的に参加している人も多いが、教室開催の情報が市民に浸透していないので周知を検討する必要がある。地域の社会資源を把握し、有効に連携していくことにより向上の余地はあるが、ネットワークの構築に時間がかかる。また、趣旨を理解し、協力いただけるボランティア等の育成が必要である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 介護が必要な高齢者が増加すると、介護保険サービスの利用も増加し介護保険財政が厳しくなり、同時に介護者の負担も増える。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘ 財源として保険料が充てられているので他の事業と統廃合できないが、介護予防に資する活動をしている団体と連携していくことが可能である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 介護予防への取り組みは継続することが大切であり、新規の参加者が増え、継続者も多くなると開催回数を増やし事業を充実させていかなければならない。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 地域の自主組織やボランティア等の活動を充実させ、外部委託等も検討していくことにより削減できる。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 介護保険料が財源となっているため、参加者を広く募っている。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

事務事業ID	1190	事務事業名	介護予防一般高齢者施策事業
--------	------	-------	---------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 介護予防に取り組むことは、高齢者のみならず40歳以上の市民にとって共通の課題であることを理解してもらい、行政主導型ではなく住民参加型で進めていく必要がある。そのために、介護予防について普及啓発事業を幅広く行っていく必要がある。筋力向上教室は送迎含みの委託であったため、参加者に喜ばれた。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>評価指標が設定されているので、評価し検討・改善していく。高齢者が対象なので、身近な地域での開催や周知の方法も検討していきたい。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>地域の自主的な組織力、ボランティア等住民参加型サービスの育成。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	保健福祉課長
-------	--------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>		<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>地域住民への周知等、適切な事務執行がなされている。</p>																																
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																
		コスト																																
		削減	維持	増加																														
成果	向上																																	
	維持			×																														
	低下		×	×																														
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>高齢者施策の内、介護状態に至ることを防止する重要な施策であり、地域の協力を得ながら、今後も継続して事業を実施する。</p>																																		

5 最終評価結果

(1)行政経営推進会議等での指摘事項
